

1. 教育計画

疾病の成り立ちと回復

分野	専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復	科目名	病態治療学Ⅳ (リハビリテーション)
単位・時間	内分泌・代謝及び運動器と合わせて 1 単位・30 時間 (授業 8 時間)	対象学年	2 年生
方法	講義	時期	前期
講師名 (担当時間数)	法人講師 二瓶 健司 (4 時間) 法人講師 竹内 玄德 (2 時間) 法人講師 佐久間 裕司 (2 時間)		
学習目標	運動器機能に関する特徴的な病理と診断基準及び治療について学ぶ。		
成績評価方法	筆記試験		
使用テキスト	メディカ出版：ナーシンググラフィカ 成人看護学 5 リハビリテーション看護 第 3 版		
参考文献			
履修上の留意			
講師からの メッセージ	身体の動き方、メカニズムを理解し、活動や参加に結びつけられるような リハビリテーションに向けて一緒に学んでいきましょう。		

2. 授業計画

回	時間	主題	授業内容	形態	備考
1	2	リハビリテーション 概論	リハビリテーションとは 評価内容の説明 (機能・ADL)	講義	二瓶
2	2	整形外科疾患のリハ ビリテーション	整形外科疾患のリハビリテーション	講義 演習	松本
3	2	脳卒中患者のリハビ リテーション	脳卒中患者のリハビリテーションの基礎	講義	竹内
4	2	自立支援に向けたア セスメント	自立支援に向けたアセスメント (ICF)	講義	佐久間
5	2	評価	筆記試験		二瓶